

科 目	科 目 区 分	必修・選択 の 区 分	開講年次	開講期	単位数	時間数
助産管理	助産学	自由	4	後期	1	15
担 当 者	オフィスアワー・場所	E-mail アドレス等				
西村 正子	講義担当日 ----- 非常勤講師控室					
教 育 目 的 及 び 到 達 目 標	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>助産業務の管理および助産所の運営に関する基本的理解と、助産業務を評価し、調整する技法を学習する。助産業務に関する法的規制、また母子保健に関連する医療制度や社会福祉制度を理解し、業務を円滑に遂行するために必要な諸制度について学ぶ。さらに産科領域における医療事故の特徴を理解し、リスクマネジメントのあり方を考える。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 管理の基本的概念と助産管理の特性を理解する。</li> <li>2. 病産院における助産業務を理解し、助産師外来、院内助産の現状を知る。</li> <li>3. 助産所の開設と運営に関する基礎的知識を得る。</li> <li>4. 周産期における医療過誤の防止とリスクマネジメントについて理解する。</li> </ol>					
教 科 書	助産学講座 10 「助産管理（第4版）」医学書院 <3,200 円>					
参 考 書	特に指定しない					
成績評価の方法	定期試験 80% 授業への参加状況 20%					
授業評価の実施方法	最後の授業時間に 15 分程度で実施します。					
教員からの メッセージ	<p>助産師国家試験受験資格取得希望者には必修科目です。</p> <p>基礎助産学、地域母子保健で学んだことを復習して臨んでください。</p>					

授業回数	授業計画の項目及び内容
1	<p>&lt;項目&gt;助産管理の基本</p> <p>&lt;内容&gt;管理の基本概念とプロセスの理解</p> <p>助産業務の目的と機能</p> <p>助産と医療経済</p>
2	<p>&lt;項目&gt;関連法規と助産師の義務・責任</p> <p>&lt;内容&gt;関連法規</p> <p>助産師の法的責任と義務</p>
3	<p>&lt;項目&gt;病産院における助産業務管理</p> <p>&lt;内容&gt;病産院における助産業務管理の方法</p> <p>外来の助産管理</p> <p>助産師外来、院内助産</p>
4	<p>&lt;項目&gt;助産所における助産業務管理（1）</p> <p>&lt;内容&gt;助産所とは</p> <p>助産所の開設に関わる手続き</p> <p>助産所に関する法律の理解 ―医療法、保健師助産師看護師法、その他関連する法律―</p>
5	<p>&lt;項目&gt;助産所における助産業務管理（2）</p> <p>&lt;内容&gt;助産所における管理・運営</p> <p>助産所管理者の義務と役割</p> <p>助産所の経営</p>
6	<p>&lt;項目&gt;産科医療を取り巻く現状の理解</p> <p>&lt;内容&gt;助産師業務に対するサービスの評価</p> <p>産科医不足と助産師の役割</p> <p>病棟の混合化による影響</p>
7	<p>&lt;項目&gt;周産期管理システムとリスクマネジメント</p> <p>&lt;内容&gt;周産期管理システム</p> <p>周産期の医療事故と防止対策</p> <p>助産師の法的責任</p>
8	<p>&lt;項目&gt;助産と医療経済・社会保障</p> <p>&lt;内容&gt;医療保険制度 診療報酬 分娩費用</p> <p>外国人に対する母子保健施策</p>
—	<p>定期試験</p>

科 目	科 目 区 分	必 修・選 択 の 区 分	開 講 年 次	開 講 期	単 位 数	時 間 数
地域母子保健	助産学	自由	4	後期	1	15
担 当 者	オフィスアワー・場所	E-mail アドレス等				
西村 正子	講義担当日 ----- 非常勤講師控室					
教 育 目 的 及 び 到 達 目 標	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>地域での母子保健活動を展開するために、現状と母子保健ニーズを理解し、地域における活動のあり方について学ぶ。社会資源の活用や保健・医療・福祉機関との調整ができる能力を養う。</p> <p>&lt;目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域母子保健活動の意義と課題を考えることができる。</li> <li>2. 地域母子保健を展開する場とマンパワーについて理解し、助産師の役割を考える。</li> <li>3. 諸外国の地域母子保健の現状と課題について理解する。</li> </ol>					
教 科 書	助産学講座9 「地域母子保健・国際母子保健」 医学書院 <3,300円>					
参 考 書	特に指定しない					
成績評価の方法	定期試験 80% 授業への参加状況 20%					
授業評価の実施方法	最後の授業時間に15分程度で実施します。					
教員からの メッセージ	<p>助産師国家試験受験資格取得希望者には必修科目です。</p> <p>「母性看護概論」「基礎助産学」だけでなく、地域看護学領域で学んだことを復習して臨んでください。</p>					

授業回数	授業計画の項目及び内容
1	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健の意義</p> <p>&lt;内容&gt;地域の概念</p> <p>地域の特性と地域母子保健</p> <p>地域母子保健活動の意義</p>
2	<p>&lt;項目&gt;母子保健の現状と動向</p> <p>&lt;内容&gt;統計資料の分析</p> <p>母子保健行政の仕組みと施策</p>
3	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健行政の体系</p> <p>&lt;内容&gt;わが国の母子保健行政</p> <p>わが国のおもな母子保健制度と母子健施策</p> <p>地域母子保健行政と助産師の役割</p>
4	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健活動の展開</p> <p>&lt;内容&gt;母子保健計画・事業への参画</p> <p>母子保健活動を展開する場と特徴</p>
5	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健活動の展開</p> <p>&lt;内容&gt;思春期・更年期女性への指導</p> <p>集団指導案の作成と実施</p> <p>性教育、家族計画指導</p>
6	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健活動の展開</p> <p>&lt;内容&gt;新生児訪問指導の理論と実際</p> <p>褥婦訪問指導の理論と実際</p> <p>地域子育て支援からのアプローチ</p> <p>地域組織活動</p>
7	<p>&lt;項目&gt;国際化時代の母子保健</p> <p>&lt;内容&gt;諸外国の母子保健活動</p> <p>在日外国人の母子保健の現状と課題、在日外国人母子の妊娠・出産への支援</p> <p>海外在住日本人の母子保健</p>
8	<p>&lt;項目&gt;地域母子保健活動の今後の課題</p> <p>&lt;内容&gt;今後の課題</p>
—	<p>定期試験</p>

科 目	科 目 区 分	必 修・選 択 の 区 分	開 講 年 次	開 講 期	単 位 数	時 間 数
課題別特別科目	課題別科目	必修	4	後期	1	15
担 当 者	オフィスアワー・場所	E-mail アドレス等				
学内担当教員	講義日 -----					
教 育 目 的 及 び 到 達 目 標	<p><b>【教育目的】</b> 社会ニーズの変化にともなって、現代、あるいは将来において求められる新たな看護分野のいくつかのテーマに関する新たな知見を学際的に学ぶ。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)それぞれのテーマに関する最新の知見を学び、理解を深める。</li> <li>2)講義を通して得た知見をもとに、各分野における看護の役割や課題について考察することができる。</li> <li>3)学習を通して看護の役割を追求し、新たな看護の方法を探索することができる。</li> </ol>					
教 科 書						
参 考 書						
成績評価の方法	レポート課題:80% 出席状況と受講態度:20% で評価する。					
授業評価の実施方法	最後の授業時間に15分程度で実施します。					
教員からの メッセージ	<p>授業はオムニバス形式で行われます。</p> <p>各テーマとも、それぞれの分野の第一線で活躍している専門家から直接学びを得ることができますので、積極的に参加してください。</p> <p>また、講義を受け身で聞くのではなく、そのテーマに関する看護の役割を追求し、新たな看護の方法を探索しようとする姿勢で臨んでほしいと思います。</p>					
<b>授業計画の項目及び内容</b>						
<p>・課題別特別科目の内容と日程は後日掲示します。</p>						